



新入生歓迎会

札幌保健医療大学広報誌

WILL

2015.05

No.2



学長挨拶

札幌保健医療大学 学長
稲葉 佳江

2015年4月3日、札幌保健医療大学入学式を挙行し、第3期生103名が入学しました。保護者の方々も多く参列され、その後の保護者説明会、後援会総会に出席して頂き、大学教職員とともに慶びを分かちことができました。3期生は先輩らの歓迎を受け、いま学内は先輩とともに自分達の学びの伝統・文化を創る意欲と希望に満ちています。

本学では、教育理念「人間力教育を根幹とした医療人の育成」を掲げ、学生の一人ひとりが人間力である「豊かな感性」「高潔な精神」「確かな知力」「他者との共存」のそれぞれの力を如何なく発揮し、一人の人間として開花し完結してほしいという願いを込めた教育を実践しています。

看護は、人の命と心に向き合い、心身の健康と生活を全人的に援助する職業です。この責任を担う看護者には、人の生き方や日々大切にしていること、あるいは苦しみを心の目で理解し、全ての手を尽くして命と健康を守り、言葉をもって支えていくための力が不可欠です。看護する心の目、手や言葉は、看護者一人ひとりの「人間力」に左右されるものであり、看護の質を決定します。こ

のような「人間力」教育は、大学の力だけでは万全といえず、保護者との協同・協力のもとに育てる営みがあって初めて実現するものと考えています。また、それにも増して学生自身がどのような人間に、また看護職に「育ちたい、なりたい、I will be・・・」と自分の未来を描き、叶えようとする思いが最も大切であると思います。保護者の皆さまとともに、学生の未来につながる教育を実行していきたいと思っています。

今年度は、1期生（3年生）が6月から11月初旬までの長期間5科目4専門領域の看護実習に出向きます。また、10月下旬には昨年同様に、2年生を対象にグローアップ・セレモニーを計画しています。看護基礎実習を目前に、学生一人ひとりが自分の進路を明確にし決意する時間です。保護者の皆さまには将来について共に考える機会にして頂きたく思います。

開学まもない本学において、さまざまな面で不自由をおかけしていますが、現在数年かけて校舎設備等の改善に向けての構想のもとに大学運営に努めております。今後も、札幌保健医療大学へのご支援をよろしくお願い申し上げます。

CONTENTS

- 学長挨拶1
- 平成26年度活動紹介2
- 学内行事報告4
- クラブ活動報告5
- 在学生の1年を振り返って6
- 学生支援について7
- 平成27年度入試結果報告8



平成26年度活動紹介



札幌市東区地域連携協定と今年度活動紹介

平成26年7月24日（木）、札幌市東区役所において札幌市東区の宮浦哲也区長と本学の稲葉佳江学長が、地域連携協定の調印式を行いました。これにより平成24年3月から始まった四者連携（札幌大谷大学・札幌大谷大学短期大学部、天使大学、専門学校北海道体育大学校と札幌市東区との間で締結）に本学が加わり、新たに五者連携がスタートしました。この地域連携は、五者が有する機能を効果的に発揮することにより、東区のまちづくり推進に寄与し、併せて相互の発展に資することを目的としています。今後東区における地域貢献に留まらず、教育機関の間での総合交流、連携等札幌市のまちづくりの推進を図るものです。以下に今年度の活動の一部をご紹介します。

町内会行事での健康相談

7月19日（土）、近隣のモエレ町内会夏祭りにて、本学教員と学生による健康相談を実施しました。身長、体重や血圧測定等を実施し、それをもとに生活習慣病、高血圧など日常生活で気をつけるポイントをアドバイスしたり、最近気になる体調変化を相談に来られた方には、医療機関を受診する際に役立つ知識をお伝えしました。限られた時間ではありましたが、教員も学生も相談者と一緒に真剣に話し合う姿が見られ、生後8か月の赤ちゃんから80代の方まで、地域の方々と直に接する貴重な機会をいただきました。



東区公開リレー講座

連携協定締結を受け、10月9日（木）東区民センターにて公開リレー講座を実施しました。4つの教育機関がそれぞれ講座を担当し、本学からは基礎看護学分野の伊藤祐紀子准教授が講師を務め、多くの東区地域の方々に参加していただきました。自然な体の動きを助けるちょっとしたコツを、参加者の皆様にも実際に動いていただきながらご紹介しました。講座終了後、参加された方から、「自分の日常生活に役立つよ」「入院していた時にベッドからの起き上がりに苦しんでいたが、もっと早く知っていたら良かった」等の声をいただきました。



平成27年度の入学式を挙行了しました

平成27年4月3日（金）、札幌市中央区の「かでる2.7ホール（北海道立道民活動センター）」において、平成27年度札幌保健医療大学入学式を挙行了しました。今年度は、3期生103名が入学し、新生活に向けて期待に胸を膨らませながら新たな一歩を踏み出しました。入学式終了後は、保護者説明会と札幌保健医療大学後援会の定期総会を開催し、多数の保護者のみなさまにご出席いただきました。



新入生歓迎会

2年 生駒 優介



今年度で2回目となる新入生歓迎会を開催しました。入学して間もない新入生に向けて、在学生から大学生活をより充実したものにするためのアドバイスやサークル紹介などを行いました。

今回は、フリートークや学校生活紹介に加え、ピンゴ大会を実施しました。フリートークでは、上級学年が新入生と直接コミュニケーションを取り、勉強やサークル、大学生活のことだけでなく他愛のない話でも盛り上がり、1年生から3年生までの距離が一気に縮まったと感じました。また、ピンゴ大会はフリートーク以上に盛り上がり、景品を譲る2・3年生の優しさもみえ、初めての担当ながら無事に成功を取ることができたと思います。

昨年度より参加人数も多く、新入生からは「楽しかった」、「ためになる話を聞いて参加して良かった」という声が聞けて、やってよかったと心から思いました。開催準備は大変な部分もありましたが、この会を通して初心を思い出すことができ、1年生だけでなく、2・3年生にとっても良いものになったと思います。今後もより良い学校にしていけるように、学年の壁を越えて協力していきたいと思っています。





2年生対象の「グローアップ・セレモニー」を初開催

平成26年11月29日（土）、12月に行う2週間の「看護基礎実習Ⅱ（病院実習）」に先立ち、2年生と保護者を対象とした「グローアップ・セレモニー（Grow-up Ceremony）」を開催しました。このセレモニーは、大学4年間の学習の節目として、実際に患者さんを受け持つ「看護基礎実習Ⅱ」を前に、学生一人ひとりがこれまでの学習を振り返り、看護職への学びの意思を再確認できるよう企画したものです。

今回は現在、健和会臨床看護学研究所の所長であり、日本赤十字看護大学の名誉教授として長年にわたり看護実践と看護教育に尽力されている川島みどり先生をお招きし、ご講演をいただきました。

看護師としての出発点や患者さんとのエピソードを交えたお話、看護師に求められる使命と役割などを大変わかりやすくお話していただき、講演を聞いた学生からは「次週から始まる実習に対して不安と緊張で一杯だったけれど、川島先生のように自分を信じて目の前にいる患者さんのために精一杯の看護をしたいと思った」などの感想が寄せられました。学生たちは実習に向けて、大いに意欲を高めることができましたようです。

講演は保護者の方からも大変好評で、終了後には保護者の方向けの学年担任との個別懇談、学内見学を実施し、本学への理解を深めてもらいました。



2年生対象の「看護職の仕事に関する講演会」を初開催



12月初旬に実施した「看護基礎実習Ⅱ（病院実習）」終了後の平成26年12月18日（木）、2年生を対象とした「看護職の仕事に関する講演会」を開催しました。

この講演は、3年次から始まる本格的な臨地実習を前に、将来の進路選択の参考になるよう学生に実際の仕事への理解を深めてもらうことを目的に開催したものです。今回は、現役の看護職者（看護師、保健師、助産師3職種）をお招きし、看護職の魅力ややりがい、難しさなどを現役ならではの視点からお話していただきました。「やっぱ

り看護師を続けてきてよかった」、「保健師の仕事～行政で働く保健師を中心に」、「助産師のしごと」の各テーマに沿った2時間にわたる講演時間はあっという間に感じられ、熱心に話に聞き入る学生たちの真剣な眼差しが印象的でした。

3年次の6月からは、長期間の領域別臨地実習（病院実習）に取り組むことになります。学生たちには、様々な病院や病棟経験を重ねながら、今回の講演内容も参考に将来への希望を明確にしてほしいと思います。



札幌保健医療大学後援会の活動報告について

本会は、平成25年4月に設立され、今期3年目を迎えます。会則に基づき会員（保護者）と大学との連携を図りながら、学生の学習及び生活環境などの充実・支援に努めております。ここでは、平成27年4月3日（金）に開催した定期総会の結果を報告いたします。

平成27年度（第3回）定期総会

- 日時** 平成27年4月3日（金）12：50～13：10〔入学式終了後〕
- 場所** かでの2.7（北海道立道民センター）
- 内容** 以下の議案について承認をいただきました。
 - 議案1 平成26年度事業報告及び決算報告について
 - 議案2 平成26年度監査報告について
 - 議案3 平成27年度事業計画及び収支予算について
 - 議案4 役員改選について

また、今年度より役員選任方法を変更し、事務局選出の候補者を理事会にて審議のうえ選任することといたしました。



大学祭について



3年
星野 貴輝

平成26年6月21日(土)、22日(日)の2日間実施した第1回大学祭の実行委員長として、大学祭の運営に携わりました。初めての大学祭ということで、多くの教職員の方たちや地域住民の方たちに協力を得ながら準備を進めていきました。準備期間は多くの困難とぶつかりました。必要な



物品やその調達方法、業者への発注や依頼など今までやったことがないことばかりでとても大変でした。正直しんどかったです(笑)そして大学祭当日、多くの地域住民や高校生がきてくれました。実行委員長としてとても嬉しかったです。各サークルによる出店や軽音サークルによるステージ発表など大盛況でした。第1回目の大学祭は成功したと思います。さらに、運営に携わったことで、貴重な経験を積むことができて個人的に成長できた部分もあったので、実行委員長を経験することができて良かったです。さて、今年行われる第2回目の大学祭はどうなるのでしょうか。より良い大学



祭を作るためには、多くの工夫が必要になってきます。大学祭に携わる一人ひとりが目標を決めて、それに向かって他人と協力・連携を行っていかないと効率よく作業ができませんし、楽しい大学祭にはなりません。学生も、地域住民も、全員で楽しめる大学祭を第2回目、第3回目とずっと続けたいと願っています。

体育大会について



2年
金澤 竜輔

平成26年9月10日(水)に札幌市東区にある「つどーむ」にて体育大会を行いました。私は、体育大会実行委員として事前の計画、そして当日の運営に携わることができました。

この体育大会の大きな目標としては、1期生と2期生が協力し合い、学生同士の親睦を深めるというものでした。そのために2学年混合のチームを作り、全員リレーなどといった全員の力を合わせて行う競技を中心にプログラムを編成しまし



た。実行委員会では、2期生が中心となり計画を立て、チーム編成やプログラム決め、会場設営や当日の運営等、少ない人数で上手く役割を分担し、連絡をしっかりと取り合いスムーズに準備を行うことができました。

当日の運営は、たくさんの学生ボランティアに協力してもらい、予定よりも早く会場設営が終わりました。また体育大会自体も、ほとんどの学生が参加し、2学年が協力し合って各競技を楽しむことができました。特に、全員リレーは白熱し、とても盛り上がったことを覚えています。

たくさんの学生ボランティアのおかげもあり、会も最後までスムーズに進行することができました。体育大会後は全員で写真を撮ったり、学校生活でも1期生2期生の交流が増えたりと、掲げていた目標を達成することができた良いイベントとなりました。



オープンキャンパスについて



平成26年度のオープンキャンパスは、平成26年6月21日(土)、8月3日(日)、8月9日(土)、10月5日(日)、平成27年3月21日(土)の計5回開催し、延べ565名(保護者含む)の方が参加しました。全体概要説明や入試概要説明、学食体験、個別相談などを体感していただき、アンケート結果も概ね好評でしたが、特に体験演習と本学の在学生在が学生ボランティアとして参加した先輩とのトークは満足していただけたようです。「体験

演習が楽しくてためになりました」、「先輩が親切で大学の細かいことを知ることができた」などの声が聞かれました。平成27年度もオープンキャンパスを平成27年6月20日(土)、8月8日(土)、8月9日(日)、10月17日(土)、平成28年3月(日)には未定)に行います。当日は、JR札幌駅から無料送迎バスを運行しますので、ぜひご参加ください。

クラブ活動報告

本学のクラブ活動について

本学では、人間力のある看護職の育成をめざしており、クラブ活動は学生たちの人間形成の成長に大きな役割を担っていると考えています。学生たちの自主的な活動により、開学3年目で現在、体育系8団体、文化系7団体の同好会・愛好会が活動しています。3期生を迎え、より活発な活動が期待されます。



体育系

フットサル

代表 小川 翼
部員数 ♂15 ♀4
活動日 週1回

私たちは週1~2回、体を動かすことが大好きなメンバーでフットサルをしています。看護大学なので男子の数が少ないため経験者も多くなく、ほとんどが初心者です。活動をするときは10人程度と少数ですが、個性豊かなメンバーが多いためいつも賑やかで楽しいクラブです。活動内容は基本ゲーム形式で、体力が尽きるか大学が閉まるまで活動をしています。ボールを使うスポーツなので怖いと思う人もいるかもしれませんが、少しでも興味があればぜひ見学に来てください！初心者、経験者、男子、女子、体を動かしたいと思っている人ならどなたでも大歓迎です！一緒に楽しく活動しましょう！



バドミントン

代表 北田 瑠奈
部員数 ♂10 ♀17
活動日 週1回

私達バドミントン部は、「楽しい」ことを念頭に置いて活動しています。バドミントン経験者は少ないですが、皆の仲が良く先輩も男女問わず優しいので、初心者でも参加しやすい環境と雰囲気だと思います。活動日は決まっていますが、毎週火曜日に活動することが多いです。

看護学科に入学する際、勉強面や人間関係などいろいろなことに不安を抱えている人が多いと思います。特に男子はこの悩みを抱えている人が多いでしょう。バドミントンが特に好きじゃなくても、相談相手や欲しい人や友達作りのきっかけという理由で参加してもらっても構いません。運動が苦手な人や人付き合いが苦手な人も、一度見学に来てみてください。



陸上

代表 奥出 真未
部員数 ♂7 ♀3
活動日 火、木、金

私たち陸上愛好会は、部員12名という少ない部員数ではありますが、皆で協力し合いながら活動しています。主な活動場所は、本学の近隣にある「モエシ沼公園」や「つどむ」です。昨年度は、札幌ドームで行われた6時間リレーマラソンに参加する等、活発な活動をしています。陸上競技を通じて仲間との親睦を深め、より大きな結束をつくり上げていきます。大きな目標としては、大学の講義では学ぶことのできないものを陸上愛好会で見出し、個人としてチームとして成長することです。勉強と両立しながら、大学生活を楽しんでいます。



文化系

札保写真部

代表 宮澤 真澄
部員数 ♂1 ♀5
活動日 不定期

札保写真部の主な活動は、個人での作品づくりです。春夏秋冬には部員合同で大学外での撮影会を行っています。今年度は、開拓の村で撮影会を行いました。また、学生写真展をはじめとする写真コンテストにも積極的に出展しています。大学内の写真掲示や、大学祭では写真展も行いました。それぞれの感性を活かし、人に深い印象を与えられる写真を撮るという目標のもと、撮影を通して人との関わりの大切さを学び、コミュニケーションをとることを大事に活動しています。

写真は自分の世界観を表現できるだけでなく、たくさんの方の笑顔に出会うことのできるとても楽しいものです。初心者の方も経験者の方も、一緒に素敵な写真を撮りませんか？



文芸

代表 木下加南子
部員数 ♂9 ♀8
活動日 金(不定期)

文芸愛好会は、毎月テーマを設定し、そのテーマについて語り合うブックトークを中心に活動しています。その他に、長期休暇を利用して各自が執筆活動を行い、その作品を元に部誌の発行をしたり、文学講演会を聴講しに行くこともあります。

本が好きな部員、普段自分ではあまり本は読まないという部員など、様々な部員が仲良く活動しています。興味がある方は、一緒に活動してみませんか？



学友会長のあいさつ

2年生 生駒 優介

みなさんは学友会という組織をご存知でしょうか？名前を知っていても、どのような活動をしているのかわからない方も多いと思います。

私たちの主な活動内容は、学生総会や各イベントの主催、学生生活の改善などです。昨年度から本格的に活動し始め、札幌保健医療大学の2大イベントである大学祭と体育祭を無事開催し、成功させることができました。学友会の活動は大変なこともあります。企画が成功した時は喜びや達成感でいっぱいです。

今年度も新たなチャレンジをし、みなさんの学生生活がより充実したものになるように、学友会一同精いっぱい頑張ります。

体育系 8

バレーボール、バスケットボール、バドミントン、陸上、B.S.ball (ソフトボール/野球)、テニス、フットサル、卓球

文化系 7

軽音楽、写真、文芸、IVY (海外ボランティア・交流/異文化理解)、茶道、看護技術向上研究会、Medical Movies (M&Ms)



インドネシアの大学と医療現場の視察について

3年 千葉 由佳里



私はIVYという国際交流・ボランティアクラブに所属しており、講演会やイベントなど、随時活動をしています。この活動に参加してから、国際



保健センターにて

交流に興味を持つようになりました。昨年の8月に、2年生の学生有志でインドネシアの医療現場を視察に行き、看護や文化・生活の違い、人の温かさを肌で感じることができました。初めての海外旅行だったので大きな不安がありましたが、インドネシアについての事前勉強会などを何回も行い、参加者間での団結を深めて臨みました。さらに、現地の学生が歓迎してくれたので、結果的にとても楽しい旅になりました。また、言葉や文化が異なることに対し初めは戸惑いがあり、日本人の友人を頼りすぎていましたが、約1週間滞在しているうちに自分から話しかけることができ



現地の看護師さんと交流 (総合病院)

る様になり、コミュニケーションをとる自信が身につきました。今回経験したこと、感じたこと、大切な仲間に出会えたことを自分の糧とし、今後の看護に役立てたいと思います。

在学生の1年を振り返って

2年 小川 翼



私がこの1年間を振り返って感じたことは、色々な事に挑戦することができた1年だったということです。本学は、まだ開学したばかりの大学なのでサークルの数も少なく、行事をするにもまず何をするか、から考えなければなりません。私が主体となって立ち上げたサークルでは、今まで人をまとめる立場になったことがない自分が、サークルの活動内容について決めていかなければならない立場になり、強い責任を感じるようになりました。また、初開催の大学祭には実行委員として携わりましたが、すべてを一から考えなくてはならない大変さと実行して初めて気づくことが多くあり、挑戦することで次に活かすことができる経験をたくさんしました。

この1年間様々な事に挑戦し、これからは繋がる良い経験をすることができました。今後の大学生活でもどんどん挑戦していきたいと思えるような、とても充実した1年間だったと思います。

3年 岸 百恵



12月1日から12月までの2週間、看護基礎実習Ⅱがありました。初めての患者さんを受け持ち、アセスメントから患者さんの看護問題を明確化し、その看護問題を解決するためにどんな看護援助が必要なのか、自分で考えた看護計画に基づき、患者さんの能力を最大限に引き出しながら看護援助を行いました。

看護過程を展開するにあたり、患者さんとのコミュニケーションを通じて信頼関係を築くことが大切だと実感しました。実習の最終日に、受け持ち患者さんから「学生がついてとても良かった。話を聞いてくれて気分が明るくなった。」との声を頂き、患者さんにとって安楽な看護援助ができたのではないかと思います。

3年次からは領域別実習が始まります。患者さんの個性を踏まえた上で看護過程を展開し、安全で安楽な看護援助ができるように努力していきたいです。

3年 宮本 舞由



私は2年次の12月に2週間、実習で1人の患者さんを受け持たせて頂きました。緊張の毎日でしたが、実習を通して多くのことを学ぶことができて良かったです。中でも1番深く学ぶことができたのは、患者さんの変化に気づくことの大切さです。

実際に私は、患者さんのデータからある1つの変化に気づき、それを確かめるための観察や質問をしてみました。すると患者さんは、誰にも話していないけれど本当はしてほしいことを私に話してくださり、看護に繋げることができました。

今回の実習で学んだ、患者さんの変化に気づくという事を今後の実習でも大切にしていきたいと思います。また、患者さんの変化に気づくためには知識も必要だと思うので、これからもより一層勉学に励みたいのです。

2学年担任より

2学年担任教員 小林 美子



昨年4月に入学してから早1年が過ぎようとしております。すでに別の大学や社会人としての経験をもつ学生もおりますが、大多数の学生は、この間にさまざまな面で高校との違いを経験したことと思います。まず、授業ひとつをとっても、履修登録から再試験の手続き、その前段階として出席時間の管理まで、すべて自分で行わなければならなかったことでしょう。また、提出や登録の期限に遅れた場合には、情状酌量の余地なしという厳しさに直面することもあったかもしれません。このように、大学では「学ぶ」ということ的前提として、自己管理能力が必要とされます。しかしながら、例えば、自分で設定した日時の個人面談を無断欠席したり、授業の出席管理をしていないというように、将来他者の支援に関わる看護職の準備段階にある学生として先行き心配になるような場面もみられました。卒業までの道のりは、これからますます険しくなりますが、またこの1年、自分が目指す将来の姿に向けて諦めずに進むよう学担一同願うとともに、微力ながら助力させていただきたく思います。

3学年担任より

3学年担任教員 岩月 すみ江



11月下旬の小雪ちらつくなか、1期生は看護基礎実習Ⅱに臨み、初めて患者さんを受け持たせていただきました。実習前は緊張や不安が強い様子で、担任として「大丈夫かな」と思うこともありましたが、その思いは杞憂に終わりました。1日中病棟で過ごし、自宅でも実習記録の課題を抱えながらの2週間、精神的にも身体的にも大変な経験だったと思いますが、学生同士互いに支え合い、乗り越えていました。

特に印象的だったのは、「患者さんを知ることから看護ははじまる、患者さんのことを知りたい」と、受持ち患者さんに関心を寄せ、真摯に実習に取り組んでいた姿勢です。また、ケアをさせていただくなかの病棟看護師の的確な助言、受持ち患者さんからの温かい励ましなどから、各々が気づかされ大きく成長したと思います。

実習に行ったことで、専門的知識の不足や看護技術の未熟さなどの自己課題も明確になりました。実習後には、一人ひとりの学生が自己課題に向かって、1期生らしい力強さで、決意を新たに学習に取り組む姿も見受けられました。

次は領域別実習が待っています。実践での学びを深く掘り下げ、「活字の林をさまよいて思考の泉のほとりにたたずむ」経験をし、それぞれの夢が成ることを願っています。

学生支援について

キャリア支援 学生相談

学生にとって就職活動は初めての経験です
で、疑問や悩みが多いかもしれませんが、本学
では教員と一緒に考え、学生たちが社会人として踏
み出せるようにしっかりサポートします。

看護職ガイダンスなどを通じて早い時期から自
分自身のキャリアについて考え、目標をもてるよ

うに支援するほか、国家試験対策や大学院進学な
ど卒業後のキャリアアップに向けた相談・指導も
行います。また、本学では学生が学生生活を送る
なかで生じる学業や進路、人間関係などの悩み
に対して、次の相談窓口を設置し相談・助言にあ
たっています。

看護職 ガイダンス

2年次に、保健師、助産師、看
護師として現場で働く方から実
際の仕事についてお話いただ
き、体験談等を通じて進路を考
えてもらいます。

国家試験 対策講座

2年次からの低学年模試を皮切
りに、国家試験合格のための学
生による自主自立した学習体制
を教員が支援します。弱点科目
は補講で克服します。

学年担任

学生の最も身近な助言者として
学年担任を置き、困ったことや
悩みなどを一人で抱え込まずに
打ち明けられる体制を整えてい
ます。

学生相談室

専門のカウンセラーが定期的に
来校します。学生の直面する悩
みについて相談に乗り、アドバ
イスを行いながら問題の解決に
あたります。

図書館について



本学図書館は、現在蔵書約17,000冊、学術雑
誌95タイトル、視聴覚資料約750点を備える看
護系専門図書館です。全ての資料を直接、手に取
り利用できる全開架式を採用し、コンパクトなが
ら明るく開放的な造りになっています。現在、専
任職員3名で学生、教職員の学習、教育研究活動
を支援しています。

様々な取り組みを行っていますが、その一つに
医学・看護学用語の難読漢字をクイズ形式で掲載
した返却期限票があります。返却期限票は、本来、

貸出資料の返却期限日をお知らせするためのもの
ですが、日々、目にするものから専門用語に触れ
る機会を持ってもらおうと始めました。また、専
門書に限らず、いろいろな本に親しんで頂こうと
企画展示を行っています。昨年度は、文芸部学生
に小説、エッセイ、写真集など多種多様なジャン
ルの本を選定してもらい、書評を添えて展示しま
した。今後も蔵書を充実させ、豊かな人間性を育
む読書活動を支援して参ります。

保健師教育について

本学では、定員100名のうち20名が選択制で
保健師国家試験受験資格を取得することができま
す。保健師をめざす学生は、3年次前期に選抜が
あります。選抜基準は「保健師への興味・関心及
び学習意欲が認められること」、「2年次までに必
修科目のすべての単位を修得し、全科目の成績評

価においてGPAが2.5以上であること」などです。
選抜された学生は、3年次後期から開講される公
衆衛生看護学に関する科目および指定する科目に
ついて学びます。それらの科目の単位を修得した
人は、保健師の国家試験受験資格を取得するこ
ができます。

札幌保健医療大学 学業成績優秀者 給付奨学金について

本学では、学力、人物ともに優秀で他の学生の
模範となる学生を選考し、学生の経済的負担の軽
減と看護専門職の育成を目的とした授業料減免型
の給付制奨学金を支給します。2年次生以降を対
象として人数は若干名です。該当者は後期の授業

料の一部が免除となります。卒業後においても返
還の義務はありません。学業成績優秀者の決定は
6月を予定しており、平成26年度は2年次生2名
に給付されました。

平成27年度 入試結果報告

入試形態別志願者・受験者・合格者・入学者数

入試区分	募集人数	平成27年度				
		志願者	受験者	合格者	入学者	倍率
推薦入試	45	55	55	45	45	1.2倍
一般入試前期	40	280	273	103	42	2.7倍
一般入試後期	5	39	34	6	8	5.7倍
センター前期	7	78	75	36	7	2.1倍
センター後期	3	5	2	1	1	2.0倍
合計	100	457	439	191	103	2.3倍

※入学者：一般入試は追加合格者含む

平成28年度 入試概要

平成28年度 札幌保健医療大学看護学部 入学試験概要

学 科	定 員	募 集 人 員					学 位	資 格
		推薦入学試験 (公募・指定校)	一般入学試験		センター利用入学試験			
			前 期	後 期	前 期	後 期		
看護学科	100名(男・女)	45名	40名	5名	7名	3名	学士(看護学)	看護師国家試験受験資格 保健師国家試験受験資格 (選択制:20名)

【入試日程等】

種別 項目	公募制推薦入学試験 指定校制推薦入学試験	一般入学試験		大学入試センター試験利用入学試験	
		前 期	後 期	前 期	後 期
出願期間	平成27年11月2日(月) ～11月9日(月)必着	平成28年1月6日(水) ～1月26日(火)必着	平成28年2月16日(火) ～3月7日(月)必着	平成28年1月6日(水) ～1月26日(火)必着	平成28年2月16日(火) ～3月7日(月)必着
試験日	平成27年11月14日(土)	平成28年2月4日(木)	平成28年3月11日(金)	個別面接試験 平成28年2月5日(金)	個別面接試験 平成28年3月12日(土)
合格発表日	平成27年11月20日(金)	平成28年2月12日(金)	平成28年3月16日(水)	平成28年2月12日(金)	平成28年3月16日(水)
入学手續締切日 【一括納入】	平成27年12月4日(金)	平成28年2月26日(金)	平成28年3月25日(金)	平成28年2月26日(金)	平成28年3月25日(金)
試験科目 配時	(1)小論文試験 60分 (2)個人面接試験 ○公募制の出願資格 ・評定平均値3.5以上 ・現役で本学専願 ○指定校推薦入学試験※1	【学科試験科目】 3科目300点満点(1科目60分) 1.必須科目 (1)国語:「国語総合 (古文・漢文を除く)」 (2)英語: 「コミュニケーション英語Ⅰ」 「コミュニケーション英語Ⅱ」 「英語表現Ⅰ」 2.選択科目 【3教科4科目から1科目選択】 (1)数学:「数学Ⅰ・数学A」 (2)理科:「生物基礎」または「化学基礎」 (3)公民:「政治・経済」 【面接試験】(必須) ・集団面接試験	【学科試験科目】 3科目300点満点(1科目60分) 1.必須科目 (1)国語:「国語総合 (古文・漢文を除く)」 (2)英語: 「コミュニケーション英語Ⅰ」 「コミュニケーション英語Ⅱ」 「英語表現Ⅰ」 2.選択科目 【2教科3科目から1科目選択】 (1)数学:「数学Ⅰ・数学A」 (2)理科:「生物基礎」または「化学基礎」 【面接試験】(必須) ・個人面接試験	【大学入試センター試験科目】 3科目300点満点 1.必須科目 (1)国語:「国語(近代以降の文章)」 (2)英語:「英語(リスニングテスト含む)」※2 2.選択科目 【4教科8科目から1科目選択】※3 (1)数学:「数学Ⅰ・数学A」 (2)理科: ・理科①:「生物基礎・化学基礎・物理基礎」から2つの基礎科目を選択し、1科目として取り扱う ・理科②:「生物」、「化学」、「物理」 (3)地歴:「日本史B」、「世界史B」 (4)公民:「政治・経済」 【個別面接試験】(必須) ・個人面接試験	【大学入試センター試験科目】 3科目300点満点 1.必須科目 (1)国語:「国語(近代以降の文章)」 (2)英語:「英語(リスニングテスト含む)」※2 2.選択科目 【4教科8科目から1科目選択】※3 (1)数学:「数学Ⅰ・数学A」 (2)理科: ・理科①:「生物基礎・化学基礎・物理基礎」から2つの基礎科目を選択し、1科目として取り扱う ・理科②:「生物」、「化学」、「物理」 (3)地歴:「日本史B」、「世界史B」 (4)公民:「政治・経済」 【個別面接試験】(必須) ・個人面接試験
	試験場※4	本学	札幌、帯広、函館	本学	札幌、帯広、函館 (個別面接試験)
入学検定料	30,000円	30,000円	30,000円	10,000円	10,000円

※1 指定校推薦入学試験の受験資格、選考方法等は、指定校(高等学校)に直接通知します。

※2 大学入試センター試験利用入学試験の「英語」の得点は、100点に圧縮して合否判定に使用します。

※3 大学入試センター試験利用入学試験の選択科目については、(1)数学、(2)理科、(3)地歴、(4)公民において、2教科・2科目以上受験した場合は、高得点の教科・科目を合否判定に使用します。

※4 試験場については、(1)本学:札幌保健医療大学【推薦入学試験(公募制・指定校制)、一般入学試験後期、大学入試センター試験利用入学試験後期】

(2)札幌:札幌コンベンションセンター【一般入学試験前期、大学入試センター試験利用入学試験前期】

(3)帯広:帯広経済センタービル【一般入学試験前期、大学入試センター試験利用入学試験前期】

(4)函館:函館市勤労者総合福祉センター(サン・リフレ函館)【一般入学試験前期、大学入試センター試験利用入学試験前期】

年間行事	内容
4月	入学式／新入生歓迎会
5月	開学記念日／体育大会
6月	3年次臨地実習開始／ 第1回オープンキャンパス
7月	1年次看護基礎実習Ⅰ
8月	第2、3回オープンキャンパス
9月	前期定期試験
10月	大学祭／グローバルアップ・セレモニー ／第4回オープンキャンパス
11月	2年次看護基礎実習Ⅱ
12月	
1月	
2月	後期定期試験
3月	第5回オープンキャンパス



編 集 後 記

札幌保健医療大学広報誌「WILL」の第2号をお届けいたします。開学から3年目の今年には103名の新入生を迎え、キャンパス内が活気づいています。毎年新入生を迎えるたびに、学年によってこころも雰囲気が違うものかと驚かされます。この個性豊かな学生達は、

この大学でどのように成長し、4年後どのような姿で巣立っていくのでしょうか。その姿を想像しては、大学教育の使命と責任の重さを感じています。これからも、本学の教育にご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

(入学試験・広報委員会編集担当)